

学校だより



横浜市立つづきの丘小学校

つづきの空

9月号

令和5年8月31日

高めよう学び 広げようつながり 輝こう未来へ つづきの丘の子

いじめ未然防止の輪 ～一人ひとりができること～

校長 田淵 恵子

夏休みが明け、学校中に子どもたちの元気な声が戻ってきました。この夏、子どもたちは新しい発見や経験をたくさんしたのではないのでしょうか。子どもたちの姿から、充実した夏であったことが伝わってきます。明日から9月に入ります。暦の上では秋となりますが、連日の猛暑は9月も続くとの報道があります。学校ではこまめな水分補給等、十分に熱中症対策をとりながら教育活動を行ってまいります。

8月28日、都筑区中学校ブロック「横浜子ども会議」の区交流会が、都筑公会堂で開催されました。今年度で11回目を迎えた子ども会議は、いじめ未然防止の取組として「だれもが安心して生活できるよう、いじめの問題に向き合い、自ら解決しようとする子ども社会」をめざし、全市立学校の児童生徒が主体となって話し合いと具体的な取組を進めています。今年度のテーマは、「つながる、広げる、いじめの未然防止の輪～いじめをなくすために、一人ひとりができること～」です。当日は各学校の取組を中学校ブロックごとに紹介し合い、いじめをなくすためにできることを考え、これから取り組んでいきたいことを発表し合いました。本校は6年生の計画委員会委員長が、つながりを大切にしたい本校の2つの取組を紹介しました。取組1「ペア学年で挨拶運動をする。」では、昨年度、計画委員が中心となって進めていた挨拶運動を、全学年に意識をもってもらえるようにペア学年での取組に改善しました。7・8月は1年生と6年生がペアとなり、正門と通用門で登校してくる子どもたちを挨拶で迎えています。取組2「ペア学年で仲良し遊びをする。」では、ペア学年で考えた遊びを行い、異学年交流を深めていきます。この2つの取組を継続することで、良好な人間関係を構築していきます。



子ども会議全体を通しての振り返りでは、各校から「自分たちが思いつかなかった考えを聞くことができ参考になった。」「話し合っただけで終わるのではなく自分たちの学校に広げてくることが大事だ。」等の感想が出されました。荏田南中学校ブロックでは、いじめ未然防止のために一人ひとりができることとして、「相手の気持ちを考えて行動することを大切にしていこう。」ことをまとめとし、実践への意欲をもちました。

本校では「いじめは絶対に許さない」意識を共有し、いじめ未然防止の取組に向けて定期的に子どもたちへの「生活に関するアンケート」や「Y-P アセスメント」を実施し、一人ひとりの困り感や満足感を把握し、未然防止や早期発見に役立てたり、学級風土のチェックをして学年や学級の指導に活かしたりしています。また、社会的スキルを育むための「子どもの社会的スキル横浜プログラム」を活用して、自分自身や周りの人々と良好な関係を築くために必要なスキルやSOSサインの出し方等を身に付ける取組も行っています。

全ての子どもは、かけがえのない存在です。学校と保護者・地域が連携・協働しながら、今後も子ども一人ひとりに寄り添い、教育活動全体を通して自己肯定感を高める取組を重ね、互いを認め合い、誰もが安心して生活ができるあたたかい学校づくりをしていきます。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。